

DAISHIN DISCLOSURE

22.4.1~22.9.30

だいしんレポート

2010年度上半期ミニディスクロージャー誌



だいしん
大分信用金庫

ごあいさつ

皆様方には、平素より「だいしん」大分信用金庫をご愛顧いただきまして誠にありがたく、厚くお礼申し上げます。

私ども「だいしん」は、大正11年に創業以来、会員制度による協同組織金融機関として、地域に密着した健全経営を行ってまいりました。

一方、一昨年来の世界的経済危機を背景に悪化した我が国の経済情勢は、本年に入り改善傾向を示しつつありました。しかしデフレや財政問題を内包した脆弱さのなかで、経済活動は依然として低水準をたどり、ここに来て株価の低迷や急激な円高により、内外需をともに停滞させることとなり、中小企業を取り巻く環境は依然として厳しい状態が続いております。

このような情勢の中で、当金庫におきましては、一段と高まりつつある地域金融機関への期待に応えるべく、「迷わず信用金庫する」理念のもと、小口多数と狭域高密着に徹して基盤強化を図り、また政府の緊急経済対策等を踏まえた資金繰り支援等、中小企業金融の円滑化に最大限注力して参りました。

この結果、22年9月末現在の業績は、預金残高1,925億円、貸出金残高926億円、当期純利益は2.8億円となりました。また、金融機関の健全性を示す自己資本比率は、安定した利益の計上とリスク資産等の減少により、対前期末比0.77ポイント上昇して21.69%となりました。

これもひとえに皆様方のご理解ご協力のお陰と存じ、心から感謝致しますとともに、今後とも状況変化を慎重に観察しつつ、経営努力いたす所存です。

何卒よろしくご支援ご協力賜りますようお願い申し上げます。

この半期ディスクロージャー誌は、地域金融機関としての情報開示や説明責任を果たす意味で、主要な財務内容や地域活動の状況について開示しているものであります。

皆様方におかれましては、是非とも本冊子をご高覧頂き、少しでも「だいしん」へのご理解を深めて頂ければ幸甚に存じます。

平成22年11月



理事長

理事長 山上 博資

経営理念

1. 地元産業の発展に寄与する
2. 利益を得たいが他人の利益を先にする
3. 内容を堅実にし待遇の優れた金庫とする
4. 五訓精神の徹底を期する

五訓

1. 時間を徒らに費やすな
2. 物を粗略にするな
3. 如何なる仕事も楽しみて勤めよ
4. 人に親切にし誠をつくせ
5. 吾身を省み人をそしるな

経営方針

金融機関を取り巻く環境は依然として厳しく、信用金庫業界においても自己責任原則に基づく経営の健全性、信頼性向上への要請が一段と強まってきています。

こうした情勢のもとで、地域限定・中小企業専門・協同組織たる信用金庫の機能発揮がますます強く求められるものと認識し、経営の合理化、効率化を推進するとともに各種リスク管理の徹底、経営基盤拡大を重要課題とし、「迷わず信用金庫する」をモットーに「自立と共生」の精神で、「健全経営」と「地域貢献」に更なる努力を重ねて参る所存です。

当金庫の概要 (平成22年9月末現在)

● 創業	大正11年11月	● 預金	192,522百万円	● 会員数	28,071名
● 本店所在地	大分市大道町 3丁目4番42号	● 貸出金	92,646百万円	● 店舗数	29店舗
		● 出資金	685百万円	● 常勤役員数	235人

■主要な経営指標の推移

<預金、貸出金等の推移>

(単位:百万円、人)

	平成21年9月末	平成22年3月末	平成22年9月末
貸出金残高	97,656	94,783	92,646
預金残高	189,732	190,784	192,522
有価証券残高	27,898	33,968	40,223
総資産額	209,744	210,627	212,805
出資総額	684	682	685
職員数	228	227	227

注:総資産額には債務保証見返は含んでおりません。

<収益及び利益等の推移>

(単位:百万円)

	平成21年9月末	平成22年3月末	平成22年9月末
経常収益	2,210	4,347	2,047
経常利益	441	844	381
業務純益	471	1,506	400
業務粗利益	1,869	3,708	1,794
当期純利益	295	438	289

注:21年9月末計数及び22年9月末計数は6ヶ月間の実績です。

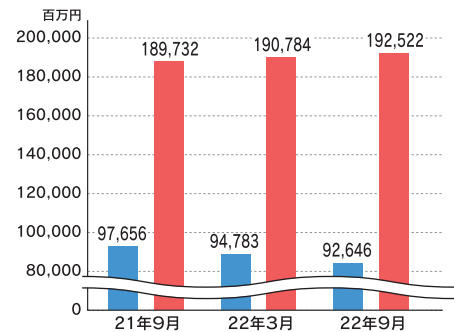
■会員の状況

(単位:人)

区分	平成21年9月末	平成22年3月末	平成22年9月末
法人会員	4,111	4,097	4,093
個人会員	22,743	23,336	23,978
(個人事業主)	(3,372)	(3,248)	(3,294)
合計	26,854	27,433	28,071

<預金貸出金残高の推移>

貸出金残高 預金残高 (単位:百万円)



■自己資本比率等の状況(単体ベース)

(単位:百万円、%)

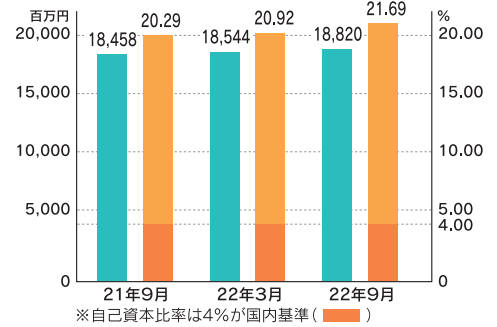
区分	平成21年9月末	平成22年3月末	平成22年9月末
自己資本額	18,458	18,544	18,820
基本的項目	17,328	17,456	17,748
リスクアセット等	90,958	88,604	86,744
自己資本比率	20.29	20.92	21.69
基本的項目比率	19.05	19.70	20.46
総所要自己資本額	3,638	3,544	3,469

※自己資本比率=自己資本額/リスクアセット等

※総所要自己資本額=自己資本比率の分母(リスクアセット等)×4%

<自己資本額・比率の推移>

自己資本額 自己資本比率



■有価証券の時価情報

(単位:百万円)

	平成22年3月末					平成22年9月末				
	貸借対照表計上額	時価	差額	うち評価益		貸借対照表計上額	時価	差額	うち評価益	
				うち評価益	うち評価損				うち評価益	うち評価損
満期保有目的の債券	26,485	27,165	680	688	8	29,483	30,616	1,133	1,133	—

(単位:百万円)

	平成22年3月末					平成22年9月末				
	取得価格	貸借対照表計上額	評価差額	うち評価益		取得価格	貸借対照表計上額	評価差額	うち評価益	
				うち評価益	うち評価損				うち評価益	うち評価損
その他有価証券	7,400	7,483	82	95	12	10,274	10,740	465	465	—
株式	32	32	—	—	—	32	32	—	—	—
債券	7,358	7,441	82	95	12	10,232	10,698	465	465	—
その他	9	9	—	—	—	9	9	—	—	—

注 1. その他有価証券の「評価差額」は、基準日時点の取得原価と時価との差額を計上しております。

(注)本資料に掲載しております計数は、原則として単位未満を切捨て、構成比等については少数点第3位を切捨てて表示しております。

貸出金残高業種別内訳

(単位:百万円、%)

業 種	平成22年3月末		平成22年9月末	
	残 高	構 成 比	残 高	構 成 比
製 造 業	3,023	3.18	3,015	3.25
農 業、林 業	107	0.11	104	0.11
漁 業	193	0.20	228	0.24
鉱業、採石業、砂利採取業	465	0.49	490	0.52
建 設 業	10,416	10.98	10,039	10.83
電気・ガス・熱供給・水道業	—	—	—	—
情 報 通 信 業	78	0.08	64	0.06
運 輸 業、郵 便 業	1,589	1.67	1,576	1.70
卸 売 業	3,589	3.78	3,486	3.76
小 売 業	7,480	7.89	6,966	7.51
金 融 ・ 保 険 業	1,949	2.05	1,837	1.98
不 動 産 業	17,868	18.85	18,182	19.62
物 品 賃 貸 業	208	0.21	207	0.22
学術研究、専門・技術サービス業	226	0.23	198	0.21
宿 泊 業	2,710	2.85	2,730	2.94
飲 食 業	2,270	2.39	2,221	2.39
生活関連サービス業、娯楽業	3,927	4.14	3,887	4.19
教 育、学 習 支 援 業	281	0.29	271	0.29
医 療 ・ 福 祉	908	0.95	859	0.92
そ の 他 の サ ー ビ ス	2,708	2.85	2,614	2.82
国 ・ 地 方 公 共 団 体	1,346	1.42	1,119	1.20
個 人	33,433	35.27	32,547	35.13
合 計	94,783	100.00	92,646	100.00

(単位:百万円、%)

金融再生法開示債権額

	平成22年3月末		平成22年9月末	
	残 高	総与信に占める割合	残 高	総与信に占める割合
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	4,998	5.04%	4,810	4.99%
危 険 債 権	3,133	3.16%	2,695	2.80%
要 管 理 債 権	919	0.92%	901	0.93%
小 計 (A)	9,050	9.13%	8,406	8.73%
正 常 債 権	89,981	90.86%	87,831	91.26%
合 計	99,032	100.00%	96,237	100.00%
保 全 額 (B)	8,236		7,632	
貸倒引当金 (C)	4,072		3,991	
担保、保証等 (D)	4,163		3,641	
保 全 率 [(B) / (A)]	90.99%		90.79%	
担保・保証等控除後債権に対する引当率 [(C) / ((A) - (D))]	83.32%		83.75%	

注 1.「破産更生債権およびこれらに準ずる債権」とは、破産、会社更生、再生手続等の事由により経営破綻に陥っている債務者に対する債権及びこれらに準ずる債権です。

2.「危険債権」とは、債務者が経営破綻の状態には至ってはいないが、財政状態及び経営成績が悪化し、契約に従った債権の元本の回収及び利息の受け取りができない可能性の高い債権です。

3.「要管理債権」とは、3ヶ月以上の延滞の状態にあるか、もしくは貸出条件緩和を行っている債権です。

4.「正常債権」とは、債務者の財政状態及び経営成績に特に問題がない債権であり、「破産更生債権およびこれらに準ずる債権」、「危険債権」、「要管理債権」以外の債権をいいます。

5.金融再生法開示債権には貸出金以外の債権(債務保証・未収利息・その他与信に関連する仮払金等)が含まれています。

6.「貸倒引当金 (C)」は個別貸倒引当金及び要管理債権に対して計上している一般貸倒引当金の合計額です。

4月

- 1日 平成22年度新入職員入庫式 **Ph1**
「だいしんフリーローンモア」取扱開始
「だいしんリフォームローン」取扱開始
- 4日 さいき春まつり参加
鶴崎けんか祭り参加
- 5日 「退職定期預金」取扱開始

5月

- 6日 「だんかい定期預金」取扱開始(9月30日迄)
- 18日 萬弘寺の市参加(24日迄)
- 30日 大分川河川クリーン活動参加

6月

- 1日 「サマー定期・メンバーズ サマー定期」取扱開始(8月31日迄)
「だいあん定期積金」取扱開始(11月30日迄)
- 5日 七瀬川ホテルまつり参加
- 15日 「信用金庫の日」イベント講演会開催 **Ph2**
テーマ:エコにまつわるエコセトラ
イベント:渡辺あきら ジャグリングショー
講演会 講師:桂 文喬
演題:世の中で大切なもの「環境・健康・人間味」
- 20日 第15回 鶴崎・大在地区ミニバレーボール大会開催
- 28日 第89期 通常総代会開催

7月

- 6日 長浜神社祭り参加
- 9日 臼杵祇園祭り参加(17日迄)
- 11日 弥栄神社・大国社夏祭り参加
- 15日 若宮神社祭り参加
- 17日 みなみおおいた夏祭り参加(18日迄)
- 23日 SAEMON23参加 優勝
- 24日 天神さま夢通り参加
ななせ火群まつり参加(25日迄)
- 25日 天満社祭り参加
別保商工夏祭り参加

8月

- 1日 さいき葛港「海ホテルまつり」参加
- 6日 第26回「府内戦紙」出場 大分信用金庫「踊り部門」優秀賞受賞 **Ph3**
- 7日 さいき番匠の火まつり「市民総踊り大会」参加
- 9日 夏休み親子スクール開催「お金の働き・金融機関の役割について」
- 21日 本場鶴崎踊り大会出場「大分合同新聞社賞」受賞 **Ph4**
- 24日 大分デザイン会議本部会勉強会 東洋ホテル
演題:「高崎山のサル社会」
講師:木本 智(財団法人 高崎山管理公社)
- 27日 東大分商工夏祭り参加

9月

- 11日 新屋敷げん気祭り参加
- 14日 仲秋祭・浜の市参加



Ph1



Ph2



Ph3



Ph4



だいしん

シンボルマーク



矢車草

矢車草は日本古来のゆかしい、多くの人に愛されてきた親しみ溢れる草花です。小さな花弁が集まってひとつの花ができているように、人と人との出会いから生まれる小さな輪がだんだんと膨らんで大きく成長し、やがてコミュニティという花を咲かせます。私たちは、この小さな出会いを大切に考え公共性豊かな金融機関として地域社会に奉仕し、よりよい環境づくりの中心になりたいと考えています。信頼される地域のコミュニケーションが私たちの願いです。